

○ 退職所得の受給に関する申告書

退職年月日（会社の役員等の退職手当等で、株主総会等の決議を要するものは、その決議により支払を受ける金額が具体的に定められた年月日）を記載します。

在職中に障害者となったことに直接起因して退職した人は、「障害」を○で囲み、() 内に障害の状態、身体障害者手帳の交付年月日を記載します。その他の人は「一般」を○で囲みます。

本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間を記載します。

前年以前4年内（その年に確定拠出年金に基づく老齢給付金として支払われる一時金がある場合には、19年内）に支払を受けた退職手当等がある場合には、その退職手当等についての勤続期間を記載します。

令和6年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書

〒100-0013 東京都千代田区西神田 X-X-X

氏名 山川 太郎

〒100-0002 東京都千代田区東神田 X-X-X

退職年月日 6年 3月 31日

退職の区分 一般 障害

退職の理由 有 無

退職手当の支払を受けたこと 6年 3月 31日

退職の勤続期間

退職の勤続期間	退職の勤続期間	退職の勤続期間	退職の勤続期間
うち 特定役員等退職期間	うち 一般退職期間	うち 短期退職期間	うち 全重退職期間
無	無	無	無
うち 短期退職期間	うち 全重退職期間	うち 特定役員等退職期間	うち 一般退職期間
無	無	無	無
うち 短期退職期間	うち 全重退職期間	うち 短期退職期間	うち 全重退職期間
無	無	無	無

退職した年の1月1日現在で生活保護法による生活扶助を受けている人は、生活扶助の「有」を○で囲みます。その他の人は「無」を○で囲みます。

支払を受ける退職手当等に特定役員退職手当等又は短期退職手当等が含まれる場合には、その特定役員退職手当等又は短期退職手当等に係る勤続期間を記載してください。

「③」欄と「④」欄の勤続期間について、重複する部分は二重に計算しないように通算した勤続期間とその年数（1年未満の端数は切上げ）を記載します。

この申告書は退職手当等の受給者が作成します。

この申告書を提出して今回支払を受ける退職手当等についての勤続期間とその年数（1年未満の端数は切上げ）を記載します。

退職した年の1月1日現在で生活保護法による生活扶助を受けている人は、生活扶助の「有」を○で囲みます。その他の人は「無」を○で囲みます。

支払を受ける退職手当等に特定役員退職手当等又は短期退職手当等が含まれる場合には、その特定役員退職手当等又は短期退職手当等に係る勤続期間を記載してください。

「③」欄と「④」欄の勤続期間について、重複する部分は二重に計算しないように通算した勤続期間とその年数（1年未満の端数は切上げ）を記載します。

○ 源泉所得税及び復興特別所得税の誤納額還付請求書

提出先の税務署名を記載します。

「誤納額の計算内容」欄において計算した差引誤納額を記載します。

誤納を生じた理由を簡記します。

納付書に記載した金額等を記載します。

正しい金額等を記載します。

源泉所得税及び復興特別所得税の誤納額還付請求書

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 X-X

電話 03-XXXX-XXXX

カブシキガイシャ

株式会社

代表者氏名 田中 太郎

令和6年 2月 21日

神田 税務署長殿

源泉所得税及び復興特別所得税の誤納額の還付を下記のとおり請求します。

還付を受けようとする額 17,867円

左記の還付される税額は、下記のところを受けとります。

銀行等 〇〇 銀行 〇〇 銀行

ゆうちょ銀行の貯金口座

郵便局等窓口

所得の種類	年月別	区分	人員	支給金額	税額	納付年月日
退職	5年12月	徴収計算書に記載したもの(A)	1	17,000,000	68,917	6・1・6
		正当計算によるもの(B)	1	17,000,000	51,050	
		差引(A-B)			17,867	

誤納額 17,867円

正しい金額 17,867円

添付書類の名称を記載します。また、添付漏れがないかどうか確認してください。

誤納となった納付に係る納付書の領収年月日と税務署名を記載します。

添付書類の名称を記載します。また、添付漏れがないかどうか確認してください。